

吸収合併に係る事前開示書面（変更）

（会社法第794条第1項及び会社法施行規則第191条に基づく事前備置書面）

2022年5月27日

株式会社プレナス

2022年5月27日

株式会社プレナス
代表取締役社長 塩井辰男

吸収合併に関する事前開示書面（変更）

当社は、2021年12月9日付で当社と株式会社プレナス・エムケイとの間で締結した吸収合併契約書に基づき、2022年6月1日を効力発生日として、当社を吸収合併存続会社、株式会社プレナス・エムケイを吸収合併消滅会社とする吸収合併を行うことといたし事前開示書面を備置しておりますが、2022年5月23日付で株式会社プレナス・エムケイにおける2022年2月期（令和3年3月1日から令和4年2月28日）の計算書類等が承認されたことに伴い、開示事項に変更が生じたので、会社法施行規則第191条第7号の規定に基づき、下記のとおり変更後の事項を開示いたします。

記

4. 吸収合併消滅会社の計算書類等に関する事項（会社法施行規則第191条第3号）

（1）最終事業年度に係る計算書類等

最終事業年度の計算書類等は別紙のとおりです。

（2）最終事業年度に生じた重要な後発事象

該当事項はありません。

以上

第29期

計 算 書 類

〔 令和3年3月1日から
令和4年2月28日まで 〕

株式会社 プレナス・エムケイ

貸借対照表

(令和4年2月28日現在)

(単位 千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	166,179	流動負債	1,456,833
現金及び預金	91,371	買掛金	466,662
売掛金	33,608	未払金	837,173
商品	18,651	未払費用	111,776
前払費用	8,798	未払法人税等	5,146
短期貸付金	1,920	未払消費税等	2,213
未収入金	7,343	前受金	6,962
預け金	1,054	賞与引当金	11,898
その他	3,473	ポイント引当金	15,000
貸倒引当金	△ 42		
固定資産	234,345	固定負債	2,042,208
有形固定資産	129,849	長期借入金	1,995,909
建物	125,863	資産除去債務	46,298
その他	3,985	負債合計	3,499,041
無形固定資産	2,993	(純資産の部)	
ソフトウェア	2,049	株主資本	△ 3,098,516
電話加入権	944	資本金	250,000
投資その他の資産	101,502	利益剰余金	△ 3,348,516
長期貸付金	16,375	その他利益剰余金	△ 3,348,516
破産更正債権等	610	繰越利益剰余金	△ 3,348,516
長期前払費用	2,761		
敷金	82,382	純資産合計	△ 3,098,516
貸倒引当金	△ 626		
資産合計	400,525	負債及び純資産合計	400,525

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

〔 令和3年3月 1日 から
令和4年2月 28日 まで 〕

(単位 千円)

科 目	金 額	
売上高		1,848,906
売上原価		728,298
売上総利益		1,120,608
販売費及び一般管理費		1,524,195
営業損		403,587
営業外収益		231,695
受取利息	321	
貸倒引当金戻入益	601	
その他	230,772	
営業外費用		20,130
支払利息	19,959	
その他	171	
経常損		192,022
特別利益		107
固定資産売却益	107	
特別損		43,304
固定資産除却損	71	
減損損失	43,232	
税引前当期純損失		235,219
法人税、住民税及び事業税	4,780	
当期純損失		240,000

株主資本等変動計算書

令和3年3月 1日 から
令和4年2月 28日 まで

(単位 千円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	
		その他利益剰余金		
		繰越利益剰余金		
前期末残高	250,000	△ 3,108,515	△ 2,858,515	△ 2,858,515
当期変動額				
当期純利益		△ 240,000	△ 240,000	△ 240,000
当期変動額合計		△ 240,000	△ 240,000	△ 240,000
当期末残高	250,000	△ 3,348,516	△ 3,098,516	△ 3,098,516

個 別 注 記 表

(重要な会計方針)

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品・貯蔵品 先入先出法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

ただし、直営店在庫のうち生鮮食品等一部の商品は最終仕入原価法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1)有形固定資産(リース資産を除く) 定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については、定額法によっております。

(2)無形固定資産(リース資産を除く) 定額法

ソフトウェア(自社利用)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

(3)長期前払費用 定額法

3. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金

売掛金その他これらに準ずる債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2)賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、将来の支給見込額のうち、当期の負担額を計上しております。

(3)ポイント引当金

顧客に付与したポイント使用に備えるため、将来行使されると見込まれる額をポイント引当金として計上しております。

4. 消費税等の会計処理は、税抜方式によっております。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

事業年度の末日における発行済株式の数 普通株式 5,000株

(その他の注記)

該当事項はありません。

第29期

附属明細書

〔 令和3年3月1日から
令和4年2月28日まで 〕

株式会社 プレナス・エムケイ

1.有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位 千円)

区分	資産の種類	期首 帳簿価額	当期 増加額	当期 減少額	減損損失 による 減少額	当期 償却額	期末 帳簿価額	減価償却 累計額	期末 取得原価
有形 固定 資産	建 物	175,146	14,976	-	41,797	22,461	125,863	410,032	535,896
	構 築 物	875	-	-	279	595	0	25,872	25,872
	そ の 他	2,735	5,577	38	1,155	3,132	3,985	169,957	173,943
	計	178,757	20,553	38	43,232	26,190	129,849	605,862	735,712
無形 固定 資産	ソフトウェア	0	2,172	-	-	123	2,049		
	電話加入権	944	-	-	-	-	944		
	計	944	2,172	-	-	123	2,993		

2.引当金の明細

(単位 千円)

区 分	期 首 残 高	当 期 増 加 額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目的使用	そ の 他	
貸倒引当金	1,270	669	-	1,270	669
賞与引当金	11,794	11,898	11,794	-	11,898
ポイント引当金	15,000	-	-	-	15,000

3. 販売費及び一般管理費の明細

科目		金額
1	販 売 促 進 費	40,854
2	支 払 ロ イ ヤ リ テ イ	9,244
3	配 送	456
4	役 員 報 酬	9,000
5	給 料 勤 手 手	161,229
6	通 勤	7,631
7	賞 与	11,184
8	ク ル 一 給 入	574,127
9	賞 与 引 当 金 繰 入	11,898
10	法 定 利 福 厚 利 生	41,960
11	法 福 利 福 厚 利 生	15,098
12	地 代 家 賃	307,272
13	機 器 賃 借	22,426
14	減 価 償 却	26,314
15	車 両 保 險	43
16	保 修 費	5,879
17	支 払 繕 修 費	10,580
18	支 教 育 募 集 利 集	44
19	水 カ ス 募 道 代	10,378
20	電 衛 旅 費 交 通 代 等	21,768
21	カ 衛 旅 費 交 通 代 等	16,435
22	電 衛 旅 費 交 通 代 等	56,884
23	衛 旅 費 交 通 代 等	24,321
24	旅 費 交 通 代 等	9,604
25	通 交 際 費	6,106
26	交 会 際 費	103
27	会 支 払 際 費	102
28	支 消 耗 品	55,868
29	消 諸 費	48,362
30	諸 新 聞 費	409
31	新 租 税 公 書	37
32	租 雜 費	17,794
33	雜 現 金 過 不	594
34	現 金 過 不	179
合計		1,524,195

第 29 期

事業報告

〔
令和3年3月1日から
令和4年2月28日まで
〕

株式会社プレナス・エムケイ

事業報告

〔 令和3年3月1日から
令和4年2月28日まで 〕

1. 株式会社の現況に関する事項

(1) 事業の経過及びその成果

外食産業におきましては、前年に引き続き、コロナウイルス感染拡大の影響による、自治体からの要請による時短営業や顧客の消費行動の鈍化などにより、非常に厳しい事業環境が続きました。

このような状況の中、GoToEatへの参加や、テイクアウトやデリバリーサイトの売上増加の施策を実施いたしました。また、1人1鍋テーブルや料理提供のための特急レーンをテスト店舗に設置し、より安心してご来店いただけるための店舗環境を整える取り組みをいたしました。

出退店につきましては、出店0店舗、退店1店舗という結果となりました。

以上の結果、当期の期末店舗数は25店舗、売上高は1,848百万円(前期比85.8%)となりました。また、経常損失は192百万円、当期純損失は240百万円となりました。

(2) 財産及び損益の状況の推移

(単位:千円)

項目 \ 期別	第26期 (30/3~31/2)	第27期 (31/3~R2/2)	第28期 (R2/3~R3/2)	第29期 (R3/3~R4/2)
売上高	3,442,482	3,309,954	2,154,506	1,848,906
経常損失	121,539	376,351	224,368	192,022
当期純損失	253,160	1,370,142	324,274	240,000
1株当たり当期純損失	50,721円57銭	274,028円57銭	64,854円84銭	48,000円09銭
総資産	745,797	683,361	527,816	400,525
純資産	△1,164,098	△2,534,241	△2,858,515	△3,098,516
1株当たり純資産	△233,286円27銭	△507,863円99銭	△572,848円82銭	△620,945円10銭

(4) 対処すべき課題

当社は、食に携わる企業として、お客様にとって安全かつ安心な商品・環境を常にご提供できる体制の確保を対処すべき最優先課題として捕らえております。また、競合他社との差別化ができる商品およびサービスの開発に取り組み、効果的な販売促進活動により既存顧客の囲い込みに努め、売上の拡大を図ります。

コスト面においては、全社における人件費の削減、店舗での原価及びロス削減やシフト管理強化により店舗収益性の向上を図ります。

(5) 重要な親会社及び子会社の状況

① 重要な親会社の状況

会社名	資本金	当社に対する議決権比率	当社との関係
株式会社プレナス	3,461 百万円	100%	食材の仕入等

また、当社は令和4年6月1日に上記株式会社プレナスを存続会社とし、合併することとなっております。

② 重要な子会社の状況

該当事項はありません

(6) 主要な事業内容

当社は、鍋と飲茶を主なメニューとし、単品・セット・食べ放題の様々なタイプに対応できる構成とした「MKレストラン」の経営を行っております。

(7) 主要な事業所

本店	福岡市博多区上牟田一丁目 19 番 21 号
本社	福岡市博多区上牟田1丁目 20 番 1 号プレナス第二ビル 3F
営業店	直営店 25 店

(8) 従業員の状況

当期末従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
41名	3名増加	38.76才	9.83年

注1、上記従業員数のほか、パートタイマーの期中平均雇用人員は183名(1日8時間換算)であります。

注2、上記従業員のうち、38名は令和4年3月1日に株式会社プレナスへ移籍いたしました。

(9) 主要な借入先の状況

借入先	借入額
株式会社プレナス	1,995 百万円

2. 会社の株式に関する事項

- | | |
|--------------|---------|
| (1) 発行可能株式総数 | 8,000 株 |
| (2) 発行済株式の総数 | 5,000 株 |
| (3) 株主数 | 1 名 |
| (4) 株主 | |

株 主 名	持 株 数
株 式 会 社 プ レ ナ ス	4,990 株

上記のほか、当社が自己株式として10株を保有しておりますが、当該株式については、会社法第308条第2項の規定により議決権を有しておりません。

3. 会社役員に関する事項（令和4年2月28日現在）

氏 名	地 位 及 び 担 当	重 要 な 兼 職 の 状 況
金 子 史 朗	取 締 役 社 長 (代 表 取 締 役)	株式会社プレナス 取締役 副社長執行役員
リット・ティラコーメン	取 締 役	MK RESTAURANT GROUP PUBLIC CO.,LTD CEO
山 脇 チ ズ ル	取 締 役	株式会社プレナス 上席執行役員 総務本部長
藤 波 俊 行	監 査 役	株式会社プレナス IR室 室長

4. 内部統制システムに関する決定または決議の内容の概要

該当事項はありません。

(注) 事業報告の記載について

1. 金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。
2. 比率は、表示単位未満の端数を四捨五入して表示しております。

監査報告書

私は、令和3年3月1日から令和4年2月28日までの第29期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

私は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の遂行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和4年5月17日

株式会社プレナス・エムケイ

監査役 藤波 俊行

